

# 「第2次鏡野町食育・地産地消推進計画」を策定しました!!

**スローガン：選ぶことから始めよう! 健康かがみの食生活**

鏡野町では、食育と地産地消を一体的に推進し、豊かで健康的な食生活を実現するため、平成31年3月に「第2次鏡野町食育・地産地消推進計画」を策定しました。5月の広報に差し込んでいますダイジェスト版をご覧ください。今後、重点的に取り組んでいく5つの基本的施策は下記の通りです。



- 【基本的施策】**
1. 町民運動としての食育・地産地消の推進
  2. 豊かな食文化と元気な農林水産業に根ざした食育の推進
  3. 家庭、学校、保育園などにおける子どもの成長に応じた食育の推進
  4. 地域における食生活の改善に向けた取り組みの推進
  5. 地場産物の積極的な販売・利用の促進

鏡野町では、6月を「鏡野町食育・地産地消月間」、毎月19日は「鏡野町食育・地産地消の日」として食育・地産地消を推進しています。この機会にご自身やご家族の食生活を見直し、日々の生活の中で自分ができることから初めてみませんか?



感謝の  
気持ちで  
食事のあいさつ  
をする



お問い合わせ先：鏡野町保健福祉課 担当：吉田 電話(0868)54-2025 FAX(0868)54-2891

## ガラスにまつわるエトセトラ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

先月号から生島さんご夫妻の展覧会をご紹介していますが、今回は出窓に展示した作品をご紹介します。賢さんの出窓展示作品は「回遊」と「潜る」です。「回遊」はクジラ、サメなど5匹を天井から吊り下げ、海中を泳いでいる様子をイメージした作品です。「潜る」はガラス球の中に水を入れ、その中に素潜りをしている人物(これもガラスで制作)をフタから吊り下げている作品で、この二つの作品を置くことで、海の生き物達と一緒に潜って楽しんでいる場面を表現しています。

一方、明水さんの出窓作品「クルクルガーガーワールド」は公園の遊具のような造形作品数点で構成されており、多数の作品が青色ということも重なって、青空の下、公園で楽しく遊ぶ子供たちが思い浮かぶような作品です。

どちらもお二人の日常の一場面が垣間見れるような作品ですね。出窓展示は展示ケース内の作品を見るとときと違い、なんとなく作品との距離が近く感じます。こういった感覚の違いも人の面白い一面だと思います。



賢さんの作品  
「回遊」と「潜る」。



明水さんの作品  
「クルクルガーガーワールド」。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888